

〔華實年浪草〕正月骨。正月。京大坂ニテ、新年、大豆酒ノ糟ヲ入、煮然シ、爲節物、食之、故ニ骨正月ト云、

〔浪花の風〕市中年中定りし食物のあらましを聞に、正月元日、二日、十日には、焼物におしなべて

鹽鯛か鹽鰯を用ゆ、元日雜煮餅は、多分味噌汁にて、昆布、芋、焼豆腐、大根等を加ふ、二日はすまし

雜煮にて水菜計り、他物は不加、屠蘇肴は、凡數の子、牛蒡、ごまめ、三種は一統に用ゆ、茶菓子は西

條柿に蜜柑昆布に限るよしなり、十日は十日夷とて必家毎に祝ひて鹽鯛を用ゆ、其外年始客

へ出す肴、鹽ぶりを用ゆ、都て江戸にて鹽引鮭を用るが如し、此鹽鯛の骨に附たるを、其儘に貯

へ置て、廿日に至りて、酒の糟にて汁の如くになし、煮て喰ふよし、是を骨正月と唱ふと、市中一

般なり、また六日年越には一同に麥飯なり、

蓬萊

〔故實拾要〕九正月飾三方

是堂上諸家中、正月三方ノ飾ニハ、熨計、匏、昆布、此二種ヲ切テ硯蓋ト云物ニ盛、白箸一膳ヲ添テ三

方ニ載之也、年始客對ノ時、件ノ三方ヲ主人ノ前ニ備フ、時ニ主人以箸熨計、匏布ヲ挾ムテ客ニ進

ム、終テ引之也、硯蓋トハ硯宮ノ打カブセノ如蓋成物也、梨地、高蒔繪、金ノ沃懸等アル物也、凡家ニ

ハ喰積ノ臺トテ、種々ノ物ヲ盛飾也、如此ノ物堂上ニハ聊無之事も、都テ堂上諸家中、年始并婚姻

元服、拜賀等ノ祝義、酒肴ノ時ハ、硯蓋ニ雉子ノ羽盛、海老ノ舟盛等ヲ用ル事也、此外種々ノ臺ノ物

等、又土器モ種々ノ肴ヲ盛也、土器ニ肴ヲ盛時ハ、土器ニ盛、小四方ト云、小キ臺ニ載之者也、

〔増山の井〕蓬萊かざるかしざかなかすのこ、かぼの田づくり、ほしはいはしなり、ちほはら、はらんだ

〔秋苑日涉〕六民間歳節上略中、歳首以柑、橘、橙、柚、榲、栗、朱梅、霜柿、海藻、昆布、葷、龍蝦、鰻魚、削脯之類

釘卓上、插松竹于其上、爲看食、謂之蓬萊、或謂之山棚、有賀客先供之、

〔日次紀事〕正月元日、蓬萊臺俵俗、新年三方臺、置海老、熨斗、昆布、榲、橙、

禮俵等、先供、賀客、祝新年、是謂蓬萊臺、